

坂田医院旧診療所

坂田医院旧診療所は、妻沼の商店街にあるアール・デコ建築の遺構を残す建物です。診療所は坂田康太郎が 1931 年に開業した産科・内科医院です。長い廊下沿いに診療室、検査室、分娩室、手術室、X 線室、暗室と 10 の部屋が配置されています。ガラス製の注射筒やフラスコ、手術道具、診察台、X 線撮影装置、医療テキストなど、当時の設備や道具の多くが残されています。

当時の照明設備としては、装飾豊かなアール・デコ調のペンダント灯からミルクグラスグローブまで残されています。照明設備や家具は診療所に適した実用的なものでありながら、当時の設計の流行が反映されています。

内装は 1980 年代に診療所が閉鎖されるまでの長い年月をかけてほとんど変わっておらず、昭和時代（1926～1989 年）初期の医療技術とアール・デコ建築を象徴するものとして、町が保存してきました。坂田医院旧診療所は国登録有形文化財です。

建物は、年に数回、一般公開されています。